

政府は4月29日付で、平成25年春の叙勲と第20回危険業務従事者叙勲を発表しました。

春の叙勲では、労働行政事務功労で元県商工労働部雇用保険課長の京野光徳さん、

地方自治功労で元県議会事務局長の白石雅造さんが受章。

危険な仕事に取り組み社会に貢献した人の功績を称える危険業務従事者叙勲では、

矯正業務功労で元法務事務官の田中正さん、警察功労で元県警警部の中尾芳数さんが受章しました。



\*瑞宝小綬章【地方自治功労】  
白石 雅造さん  
しらいし・まさぞう  
元県議会事務局長 72歳 北黒田

昭和39年に愛媛県職員に採用されて以来、37年間にわたり地方自治業務で活躍。平成11年からは、県議会事務局長を務めました。

白石さんは受章を受けて、恐縮しながら「仕事を通じて関わってきた多くの方々のお陰と感謝しております。これからも一日一日を大切にしていきたいです」と話していました。



\*瑞宝双光章【労働行政事務功労】  
京野 光徳さん  
きよの・みつなり  
元県商工労働部雇用保険課長 81歳 北川原

昭和26年に新居浜の職業安定所で働き始めて以来、職業安定行政ひと筋に尽くし、昭和63年からは県商工労働部雇用保険課長を務めました。

京野さんは「死んでしまった奥さんに受章を伝えたい。山あり谷ありで苦労をかけたけど、奥さんの支えがあったから続けられた。感謝しています」と穏やかな表情でほほ笑んでいました。



\*瑞宝双光章【警察功労】  
中尾 芳数さん  
なかお・よしかず  
元県警警部 71歳 北黒田

昭和37年に愛媛県警に採用されて以来、運転免許センターや松山東警察署などで働き、主に交通部門で活躍しました。

中尾さんは「いい上司、同僚に恵まれたおかげだと思います」と受章を喜ぶと共に、「皆さん運転に気をつけてもらいたい。少しでも事故が減ってくれればと思います」と退職後もなお、交通安全を願っていました。



\*瑞宝単光章【矯正業務功労】  
田中 正さん  
たなか・ただし  
元法務事務官 63歳 上高柳

昭和45年に法務省に採用されて以来、法務事務官として、松山刑務所などで受刑者への矯正指導に携わってきました。

田中さんは「まっとうな人間になってもらいたいという思いを込めて、矯正指導してきました」と当時の仕事を振り返り、「これからは教育という形で、子どもたちも関わっていききたい」とさらに情熱を燃やしていました。